

政令番号321 パナジウム化合物

各都道府県での届出事業所以外からの「排出源別排出量/使用目的別使用量」（平成22年度）

(E+nは $\times 10^n$ 、例えばE+3は $\times 1000$ の意味です。)

都道府県コード	都道府県名	排出量/使用量(kg/年)							合計
		裾切以下事業所	自動車等移動体	塗料	洗剤・化粧品等	農薬	農業用以外殺虫剤	その他	
1	北海道	6.0E+0						2.9E+2	299.6
2	青森県	2.0E+0						2.3E+1	25.0
3	岩手県	4.2E+0						2.2E+1	26.3
4	宮城県	2.5E+0						6.2E+1	64.2
5	秋田県	2.5E+0						9.6E+1	98.3
6	山形県	2.6E+0						6.6E+1	68.7
7	福島県	1.1E+1						4.2E+2	426.1
8	茨城県	1.5E+1						1.2E+2	134.1
9	栃木県	8.2E+0						3.9E+1	47.2
10	群馬県	1.3E+1						3.2E+1	45.2
11	埼玉県	3.8E+1						1.9E+2	230.3
12	千葉県	2.5E+1						1.5E+2	172.5
13	東京都	9.7E+0						4.6E+2	471.4
14	神奈川県	2.6E+1						3.7E+2	400.3
15	新潟県	8.6E+0						5.0E+1	58.7
16	富山県	1.1E+1						5.3E+1	63.2
17	石川県	3.9E+0						8.7E+1	90.7
18	福井県	6.7E+0						7.7E+1	83.3
19	山梨県	5.9E+0						1.7E+1	22.5
20	長野県	3.8E+0						5.5E+1	59.2
21	岐阜県	9.6E+0						4.6E+1	55.2
22	静岡県	2.6E+1						7.2E+1	97.8
23	愛知県	2.9E+1						4.3E+2	455.7
24	三重県	1.8E+1						2.7E+1	44.5
25	滋賀県	8.2E+0						4.0E+1	48.6
26	京都府								
27	大阪府	7.7E+1						2.9E+2	369.3
28	兵庫県	2.6E+1						2.1E+2	236.9
29	奈良県	1.2E+1						3.5E+1	46.9
30	和歌山県	1.6E+1						5.9E+0	21.7
31	鳥取県	4.9E-1						1.2E+1	12.6
32	島根県	9.0E-1						6.6E+1	67.4
33	岡山県	1.8E+1						5.2E+1	70.0
34	広島県	1.4E+1						1.5E+2	166.6
35	山口県	1.2E+1						9.7E+1	109.9
36	徳島県	9.4E+0						1.6E+2	169.1
37	香川県	4.9E+0						1.4E+1	18.5
38	愛媛県	7.2E+0						6.7E+1	74.4
39	高知県	2.3E+0						7.3E+0	9.6
40	福岡県	1.1E+1						1.7E+2	178.2
41	佐賀県	3.6E+0						1.3E+1	16.7
42	長崎県	2.3E+0						2.3E+2	235.7
43	熊本県	3.9E+0						1.2E+2	127.6
44	大分県	5.3E+0						1.7E+1	22.4
45	宮崎県	2.4E+0						2.0E+1	22.0
46	鹿児島県	2.4E+0						2.3E+1	25.7
47	沖縄県	4.9E+0						9.1E+1	96.2
	全国	5.3E+2						5.2E+3	5,686.2

注)「移動体」の「船舶」からの排出量の一部は、都道府県別に区分できないため、都道府県合計と全国合計は一致しない。